

AJC-CMS通信 Vol.2

AJC-CMS活用インタビュー

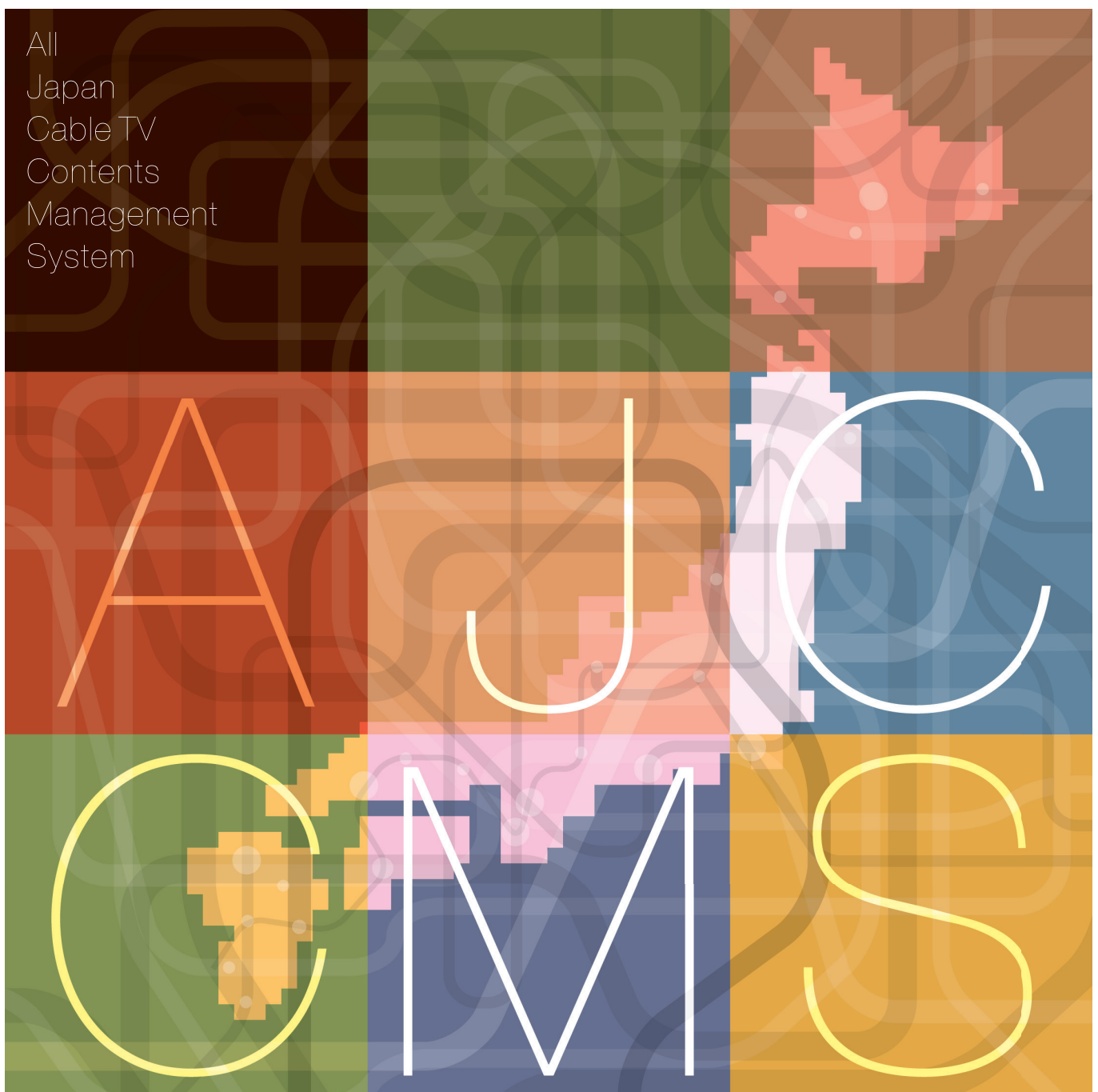
02 — ジュピターテレコム 放送運行や番組制作を AJC-CMS が支える

AJC-CMS開発担当者インタビュー

06 — 「Next AJC-CMS」実現へのロードマップ

05 — AJC-CMS DATA & RANKING/ヘルプデスク直送！ AJC-CMS よくある質問&回答集 vol.2

08 — AJC-CMS 利用実績 / AJC-CMS 利用料金 / 編集後記



AJC-CMSが 放送運行や番組制作を支える重要な存在に

日本最大のMSOである(株)ジュピターテレコム(東京・千代田区、森修一社長、以下J:COM)。11社50局(2013年8月末現在)を傘下に持つ会社では、グループ局間での映像コンテンツ伝送などでAJC-CMSを利用しているという。その利用状況や効果などについて話を聞いた。

齋藤松雄氏(写真右)

(株)ジュピターテレコム コミュニティチャンネル本部
コミュニティチャンネル部 関東メディアセンター
小金井事務所 放送運行グループマネージャー

加藤 優氏(左)

(株)ジュピターテレコム コミュニティチャンネル本部
コミュニティチャンネル部 関東メディアセンター
浦安事務所 制作グループアシスタントマネージャー

大池友明氏(中央)

(株)トラストネットワーク 営業局営業推進部
メディア事業グループ 主任



関東送出センターの集約化を 契機にAJC-CMSを導入

—AJC-CMSをどのように活用していますか。

齋藤: そもそもAJC-CMSを利用することになった大きな要因は、関東圏の送出センターの集約化でした。以前、関東圏のJ:COMグループ局は、東京・小金井と神奈川・辻堂、千葉・柏の3カ所の送出センターを利用していましたが、これを昨年(2012年)10月に、小金井に集約することになったのです。1カ所に送出を集約するわけですから、当然小金井の送出センターでは以前より扱う素材や完パケの量は多くなり、テープ伝送ではコストや手間が膨大なものとなってしまいます。そこでAJC-CMSでコンテンツを伝送することにより、伝送コストや伝送時間の削減を図ることが考えられたのです。AJC-CMSの存在は、まさに“渡りに船”でしたね。

加藤: またJ:COMでは関東に小金井、辻堂、高崎、さいたま、台東、浦安、土浦の7カ所の制作事務所を有しており、それぞれが各地域の番組制作に力を入れています。一方で関東圏など広域エリアでの番組制作も行なっており、その際には各制

作事務所が連携して制作に取り組んでいます。この中規模エリア番組の制作では映像素材をやり取りする機会も多く、これまではテープでの対応となっていました。しかしAJC-CMS導入後は映像素材はもちろん、完パケも含めてAJC-CMSを利用したの伝送が増加しています。

さらにJ:COMグループ内だけではなく、他のケーブルテレビ局との番組交換でもAJC-CMSを活用しています。たとえばJ:COM浦安では千葉県の近隣局との番組交換でAJC-CMSを使用していますし、J:COM湘南でも神奈川県のカブルテレビ局と番組交換を行なっています。

—AJC-CMSはいつから利用し始めたのでしょうか。

加藤: AJC-CMSの有償版が運用された2011年12月から使用していたのですが、当初は社内の回線環境が整っていませんでした。しかし昨年10月にHDの制作環境を整えたのと同時に、回線環境や映像素材のデータ化環境も整備し、AJC-CMSを本格運用できる状況となりました。ちょうどその時期はAJC-CMSの本運用開始と同じ時期でしたので、タイミングが良かったですね。

仲川 圭氏 (写真左)

(株)ジュピターテレコム コミュニティチャンネル本部
コミュニティチャンネル部 関東メディアセンター
小金井事務所 制作グループ アシスタントマネージャー

古田秀幸氏 (右)

(株)ジュピターテレコム コミュニティチャンネル本部
コミュニティチャンネル部 関東メディアセンター
小金井事務所 制作グループ



毎月160～180本をダウンロード 放送運行に不可欠な存在に

—毎月どのくらいの映像本数が
AJC-CMS 経由で流通しているのでしょうか。

大池: ダウンロード本数に関しては、毎月160～180本くらいです。これはJ:COMグループ内の番組と他局からの番組を合わせた数で、うち20～30本が他局からの番組になります。

斎藤: AJC-CMS 導入後はコンテンツ流通量は増えています。導入当初はネットワーク環境が整っていなかったのでさまざま不具合があったのですが、専用回線が整備されてからは問題なく使用できるようになりました。今は日常的に使っている状況で、既に放送運行にはなくてはならないものとなっています。

—AJC-CMS からコンテンツをダウンロードした後は、
どのような作業フローとなるのでしょうか。

大池: 映像ファイルのフォーマットがJ:COMのインジェストフォーマットに対応していれば、ポータブルHDDにファイルを移してインジェストルームに持ち込むだけです。フォーマットが異なる場合は編集ソフトでフォーマットを加工する必要があります。

斎藤: J:COMの場合、番組の開始がゼロスタートなので、カラーバー等が冒頭に入っているとそのままでは使用できないのです。その場合はカラーバー等をカットした上で書き出すこととなります。ですからAJC-CMSでダウンロードする際に、イン点とアウト点を決めて映像を切り出すような機能が追加されると、非常にありがたいですね。

またJ:COMではラウドネス等の調整のため、ファイルの番組も必ず再インジェストしています。そのためインジェスト面では従来と変わりません。

高校野球ダイジェスト番組の 視聴率アップに貢献

—コンテンツ制作面でのAJC-CMSの活用状況は
いかがでしょうか。

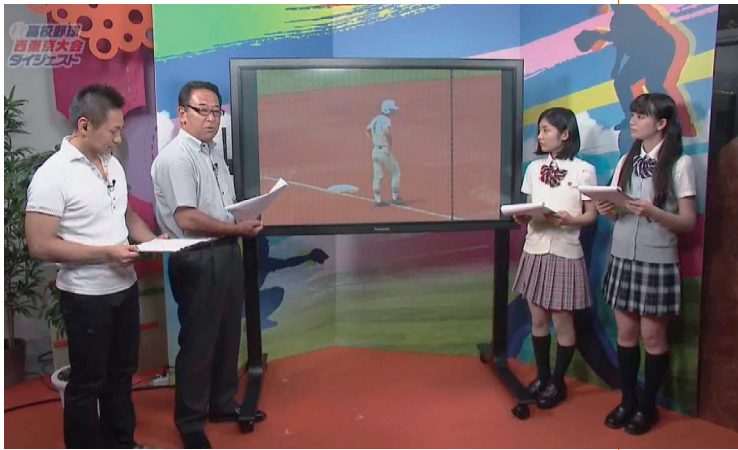
加藤: 特にごく短納期でのコンテンツ制作の際には、AJC-CMSは欠かせない存在となっています。たとえば今夏にJ:COMグループ局や他局でも放送した音楽ライブ番組『音霊 OTODAMA SEA STUDIO 2013』は、収録から約2日後には他局に配信するというスケジュールでした。編集作業時間を考慮するとテープ配信では難しい日程でしたが、AJC-CMSのおかげでこれが可能となりました。

またJ:COMとJCNは共同で昨年から全国高校野球選手権西東京大会のダイジェスト番組を制作・放送していますが、今年の夏はAJC-CMSが重要な役割を果たしていました。

—高校野球のダイジェスト番組制作では、
どのようにAJC-CMSを活用したのでしょうか。

仲川: 今夏、高校野球 西東京大会のうち、八王子市民球場で行われた全ての試合をJ:COMとJCN、および多摩ネットワークの約208万世帯に向けて生中継し、さらに試合開催日の21時よりダイジェスト番組を放送しました。神奈川県でもJ:COM、JCNグループ局を含む神奈川県内のケーブルテレビ局11社が連携し、平塚球場で行われた3回戦～5回戦までの全試合を生中継したほか、ダイジェスト番組の放送も行われました。

西東京大会のダイジェスト番組の制作にあたっては、両社の制作スタッフが八王子市民球場のほか、各地の大会開催球場で注目の試合を1回戦から決勝戦まで撮影し、その見どころを2～3分の映像素材に編集。映像素材はAJC-CMSを使ってJ:COMの小金井センターに集められ、それをサブスタジオのVTRシステムに入れた上で、小金井のJ:COMスタジオから生でダイジェスト番組を放送しました。その際の試合映像として映像素材が使用され、ナレーションは生で当てました。1番組の中で紹介する試合は6～7試合でした。



高校野球 西東京大会 ダイジェスト



小金井局にある送出センター。ここから関東エリアの番組が送出される

高校野球 西東京大会ダイジェスト

夏の高校野球 西東京大会の様態をダイジェストで伝える生放送番組。J:COMとJCNの共同制作により、八王子市民球場のほか各試合会場で撮影した映像等をコンパクトにまとめて放送。西東京エリアのJ:COM、JCNグループ局だけでなく、多摩ケーブルネットワークにも放送し、視聴可能世帯数は約208万世帯となった。

神奈川大会でも同様にAJC-CMSが使われており、同県では3回戦から決勝戦までのダイジェストが放送されました。

古田：このダイジェスト番組は昨年(2012年)から放送されているのですが、昨年は生番組ではなく、完パケで納品されたVTR番組でした。JCNでスタジオ部分まで収録した完パケを制作し、そのテープを電車で小金井センターに持ち込んだ上で、インジェストして放送する形でした。

仲川：電車でテープを運ぶ時間が必要だったため、昨年のダイジェスト番組は23時からの放送でしたが、今年はAJC-CMSを使うことで21時からの放送に早めることができました。やはり視聴ターゲットが高校生なので、放送開始が23時からですと少々遅いと感じており、なんとか21時台の放送開始にしたいと考えていたのです。この2時間の放送開始時間の前倒しは、AJC-CMSがなければ不可能でしたね。

—放送開始時間が早まったことで、視聴率等に変化はありましたか。

仲川：視聴率は大きく変わりましたね。今年で2回目の取り組みなので前回よりも番組認知度が高まっていたという要因もありますが、視聴率は23時からの放送だった昨年と比較して約5倍となっています。

今年実施しなかったのですが、来年は深夜帯での再放送も行うことを検討しています。高校生だけでなく、仕事から帰宅した親世代にも視聴していただけるよう、工夫していきたいと思っています。

アップロードの安定性や速度の改善を

—今後AJC-CMSをどのように活用したいとお考えですか。

加藤：関東のJ:COMグループ局の共同制作番組を、AJC-CMSを使って流通させていきたいと考えています。また浅草サンバカーニバルなどのイベント生中継番組も、AJC-CMSを使ってできるだけ早いタイミングで配信できればと考えています。

その他、「全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会」(ウインターカップ)の地方予選を150局以上のケーブルテレビが撮影・放送し、全国大会をスポーツチャンネル「J SPORTS」が放送するという、専門チャンネルと連携した番組制作の試みが今年実施されます。このように地方大会をケーブルテレビ局が撮影・放送して、全国大会を専門チャンネルで放送するようなスキームは、他のスポーツでも応用可能です。その際にAJC-CMSを活用していければと思っています。

—AJC-CMSで改善を希望する点はございますか。

加藤：ダウンロードは問題ないのですが、アップロードが若干不安定な点が気になります。何度もアップロードに失敗するとスケジュールに狂いが出たり、ストレスもたまったりします。ネットワーク側の問題もありますが、アップロードの安定性や速度を改善していただければと思います。

斎藤：運用している中でわかったのですが、インターネットで一度に送信できる値が回線によって異なるので、この設定を最適にすることによって、スムーズにアップロードできました。このような情報を連盟やラボから紹介してもらえるといいですね。またそういった情報交換のできる場があればいいと思います。

ヘルプデスク直送! AJC-CMS よくある質問&回答集 Vol.2

AJC-CMS DATA & RANKING

データで見る AJC-CMS

AJC-CMSへの
アップロード局や
ダウンロードコンテンツ数
ランキングを紹介します。

局別コンテンツアップロード数TOP10 (2013年7月～9月)

順位	事業者名	アップロード数
1	(株)囲碁将棋チャンネル	587
2	ジャパンケーブルネット(株)	562
3	J:COM 関東メディアセンター 辻堂事務所	301
4	(株)コミュニティネットワークセンター	237
5	(株)ひろしまケーブルテレビ	170
6	ケーブルテレビ(株)	139
7	YOUテレビ(株)	100
8	J:COM 関東メディアセンター 浦安事務所	88
9	スターキャット・ケーブルネットワーク(株)	86
10	洛西ケーブルビジョン(株)	74

コンテンツダウンロード数TOP10 (2013年7月～9月)

順位	事業者名	タイトル	ダウンロード数
1	(一社) 日本ケーブル テレビ連盟	デジアナ変換終了告知 (30秒)	103
2	(一社) 日本ケーブル テレビ連盟	デジアナ変換終了告知 (15秒)	93
3	(株)中海テレビ放送	皆生トリアスロン “最幸の日”を目指して… それぞれの挑戦 ～9月8日まで	66
4	(株)TOKAIケーブル ネットワーク	岳鉄を見つめて	51
5	姫路ケーブル テレビ(株)	ぶらばん。 「姫路市立飾磨高等学校 卒業式」	46
6	(株)JCN 大田ケーブル ネットワーク	デイリー大田 ～モノづくりの未来を担う 下町ボブスレー～	45
7	(株)ケーブル メディアワイワイ	九州番組コンクール2013 入賞作品 「共にみた夢～松田丈志を 支えた人たち～」	43
8	東京ケーブル ネットワーク(株)	映画甲子園セミナー	43
9	(株)長崎ケーブル メディア	「潜伏 果てしない祈り」	41
10	(株)唐津ケーブル テレビジョン	唐津が生んだ 建築界の巨匠たち	40

パスワードを忘れてしまった!

Q パスワードを忘れてしまいました。再発行できますか?

A 一般ユーザーアカウントなら、局内アカウントの情報変更で行えます。

一般ユーザーアカウントのパスワードを忘れた場合は、貴社のAJC-CMS管理者アカウントでAJC-CMSにログインし、局内のアカウント情報を変更することでパスワードの再発行が可能です。

具体的な手順は

- ① 管理者のアカウントでAJC-CMSにログイン
- ② 画面上部の「アカウント設定」をクリック
- ③ 「利用ユーザー」タブの、画面右の一覧から変更対象のユーザーをクリック
- ④ 画面中央の「パスワード」、「パスワード確認」に新しいパスワードを入力する
- ⑤ 「登録」ボタンをクリック

となります。

AJC-CMS管理者アカウントのパスワードを忘れた場合は、ヘルプデスクにてパスワードの初期化を実施しますので、ヘルプデスク宛てに対象のメールアドレスを記載の上、メールにてご連絡をお願いします。

JCTAActivatorがインストールできない!

Q JCTAActivatorのインストールに失敗します。

A お使いのPCアカウントに管理者権限がない可能性があります。

お使いのPCアカウントに管理者権限がない可能性があります。エラーが表示されインストールできない場合は、貴社システム管理者へご確認ください。

端末認証がうまくいかない!

Q 端末認証でエラーが発生します。

A アカウントと端末ネットワークI/FのMACアドレスを紐付けて認証しています。

AJC-CMSの端末認証は、ご使用のアカウントと、ご使用端末のネットワークインターフェースのMACアドレスを紐付けて認証しています。

無線LANと有線LANを併用されている場合、同じIPが設定されていても、無線LANと有線LANはそれぞれ別のMACアドレスを持っています。そのため端末認証後に無線LANと有線LANを切り替えると、認証がされずエラーとなってしまいます。

たとえば初めて端末認証を行なった際、有線LANでネットワークへ接続していた場合は、以後有線LANでネットワークに接続していないと認証されず、AJC-CMSへログインできません。同様に初めて端末認証を行なった際、無線LANでネットワークへ接続していた場合は、以後無線LANでネットワークに接続していないと認証されません。

ノートPCなど接続方法を良く切り替える端末でAJC-CMSをご利用いただいている際はご注意ください。

今回のQ&Aについて、下記のサポートサイトにて詳しくご案内しています。今後、他の質問項目についてもご紹介していく予定です。

<https://www.ajc-cms.jp/helpdesk/> ※12月1日オープン

Next AJC-CMSで ケーブルテレビの番組が 日本中、世界中で見られる 環境を実現したい

2012年10月より本格運用が開始されたAJC-CMS。その開発の歩みは未だ止まっていない。さらなる大きな目標に向かって着実に一步を踏み出している。AJC-CMSのこれまでの歩みと、これからのステップについて話を聞いた。



久保田精一氏

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 コンテンツ特別委員会
(株)ジュビターテレコム コミュニティチャンネル部 副部長

10年以上にわたる取り組みで 誕生したAJC-CMS

—AJC-CMSの構想はいつ頃生まれたのでしょうか。

久保田: AJC-CMS構想はここ数年の間に生まれたと思われる方も多いと思いますが、実は約10年前から検討・構築が進められていたものです。日本ケーブルテレビ連盟(以下JCTA)が中心となって、じっくりと醸成されていきました。

そもそも、2003年にJCTAのNext Generation Forum(以下NGF)で各ケーブルテレビ局の制作担当者らが中心となり、番組動画のついたコミュニケーションサイトを立ち上げようとしたことがきっかけです。「他局の番組を視聴でき、その制作手法などを語り合うサイトがあれば、番組制作の参考や刺激になるのでは」との議論が起こり、その結果として番組プレビュー動画作成機能やコミュニケーション機能を持つサイト「CCBank」(Cable Contents Bank)を立ち上げることとなりました。ちょうどその頃、ケーブルテレビ業界では「オールケーブル構想」といった広域連携構想が話題となっており、2004年にはNGFのCCBankによる蓄積型のコンテンツ流通と、IP伝送による番組配信の実証実験も行われています。IP伝送実験は、2005年の愛知万博に際し、JCTA東海支部が開設した「万博チャンネル」をIP伝送で関東や東北のケーブルテレビ局へと伝送し放送を行いました。あわせて「コンテンツの広域連携に関するアンケート」や、「自主制作番組におけるコンテンツの相互流通に関するアンケート」調査を行い、広域連携やコンテンツ流通に対するニーズの高さを確認しました。

一方、コンテンツに付与するメタデータの整備・統一も急がれました。2006年～2007年にかけて、ケーブルコンテンツ用メタデータに関しては日本ケーブルラボ(JCL)で調

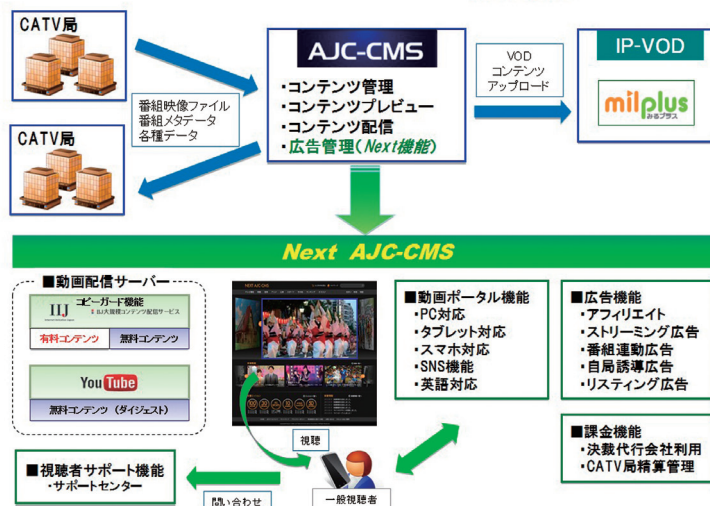
査・規格化を実施し、放送向けメタデータ「J/Meta」をベースにケーブルテレビ局向けに「ケーブルコンテンツ流通メタデータ JCL SPEC-015 1.0版」を策定しました。

2009年にラボでは、「地域コンテンツの全国流通に向けた検証システム構築等に関する検討についての答申」がまとめられ、3のステップでコンテンツ流通システムを構築するコンテンツ流通プラットフォームのグランドデザインが描かれました。並行してJCTAでも「全国コンテンツ流通ビジョン3カ年計画」がまとめられ、方向性が明示されました。

そして同年AJC-CMSの第1ステップとして、ポータル管理、メタ公開・検索、プレビュー動画管理を行うシステムが本格的にスタートしました。

2010年の第1ステップ検証運用を受け、2011年に第2ステップとして、プレビューだけではなく完パケも送れるシステムとして、現在のAJC-CMSがJCTAで開発され、2011年12月にAJC-CMSが稼働を開始しました。当初の無料利用検証期間を経て、2012年10月の本格稼働と同時に有償化し

■ AJC-CMSとNext AJC-CMSの機能構成



■ AJC-CMSの歴史とNext AJC-CMSのロードマップ

年	月	実施項目
2003		日本ケーブルテレビ連盟NGF（ネクストジェネレーションフォーラム）、全国レベルのコンテンツ流通発案「CCBank」（ケーブルコンテンツバンク）をまとめる
2004		NGF、「CCBank実証実験」を実施
2005		愛知万博で万博チャンネルのIP伝送を実施 JCTAコンテンツ部会、広域連携に関するアンケート調査を実施 JCL調査研究部会、「コンテンツ相互利用の実態調査」を発行
2006		JCTAコンテンツ流通WG、「自主制作番組におけるコンテンツの相互流通について」の調査を実施 JCL調査研究部会、「番組メタの統一とCCD共通ID体系」を発行
2007		JCL運用規格部会 メタデータTG、「ケーブルコンテンツ流通メタデータ」構造仕様、ガイドラインを策定
2009		AJC-CMS(第1ステップ)が稼働
2010		JCTAコンテンツ特別委員会、全国共同制作番組『けーぶるにっぽん』第1弾を制作
2011		AJC-CMS(第2ステップ)が稼働 JCTAコンテンツ特別委員会、全国共同制作番組『けーぶるにっぽん』第2弾を制作
2012		AJC-CMS(第2ステップ)の本サービスを有償で開始 JCTAコンテンツ特別委員会、全国共同制作番組『けーぶるにっぽん』第3弾を制作
2013	9	Next AJC-CMS実証モデル構築フェーズを確定
	10	Next AJC-CMS実証フェーズ内容を確定・構築を開始
	11	AJC-CMSとmilplusの連携開始
2014	1	Next AJC-CMS実証モデル 検証フェーズ稼働予定
	4	Next AJC-CMS実証モデル 実証フェーズ稼働予定
	7	Next AJC-CMS第1回検証を実施予定
	8	Next AJC-CMS有料フェーズ内容確定・構築開始予定
2015	1	Next AJC-CMS実証モデル有料フェーズ稼働予定
	5	Next AJC-CMS第2回検証を実施予定
	9	「Next AJC-CMS実証プロジェクト」総括報告予定
	10	Next AJC-CMS本格実施計画を策定開始予定

「milplus（みるプラス）」も加わります。AJC-CMSとIP-VODとの連携はmilplusも含めて、色々なプラットフォームへの配信も対応したいと考えています。

「Next AJC-CMS」最大のポイントは、コミチャンOTTが実現されることです。提供するコンテンツをどのようなものにするかの議論はありますが、Nextでは全国のケーブルテレビ局の番組を、誰もが視聴できるようになります。これにより未加入者の加入誘導はもちろん、他地域の方に番組を通じて自局エリアに興味を持ってもらったり、実際に足を運んでもらえるような番組を制作・配信したりすることで、地域活性化につなげることもできます。さらに英語版サイトも制作するため、海外のコンテンツ事業者に対するショーケース的な役割も果たします。海外への番組販売もテープを送らず、AJC-CMSによって完パケを送ることが可能です。実際にASEAN地域などでは日本のコンテンツは人気がありますし、クールジャパン政策で総務省や経産省などがコンテンツの海外販売に関して補助金も出しています。コミチャンOTTによって、自局の番組が、日本はもちろん世界で視聴される機会を得られるようになり、同時に収益化も目論みます。ケーブルテレビ局のコンテンツ流通における新たな取り組みとして、今後も継続的に進めていきたいと考えています。

ました。現在、アップロードされるコンテンツは月間1,000本～2,000本、ダウンロード回数は月間4,000～5,000回となり、利用局数も280局を超え、ケーブルテレビ局間のコンテンツ流通のプラットフォームとして定着してきました。制作現場でもファイルベースでのワークフローに対応して「テープで送るよりも速くて安価」という認識が広まり、映像差し替えが出た際の緊急伝送や、ライブイベントの翌日配信、全国からケーブルテレビ局のコンテンツを集めての放送など、これまでのテープ伝送では実現不可能だったワークフローが生まれています。

コミチャンOTTを実現する Next AJC-CMS

—今後、AJC-CMSはどのように進化していくのでしょうか。

久保田：現在、次世代（第3ステップ）のAJC-CMSを「Next AJC-CMS」（以下Next）とし、これを実証するプロジェクトを開始しています。

Nextで実現を目指す機能はいくつかありますが、その最も大きなものがBtoC配信です（左下図参照）。権利処理されたケーブルテレビ局制作コンテンツを、Nextを活用し、コンシューマー向けに配信します。今年（2013年）12月末には「検証フェーズ」として稼働する予定です。

「検証フェーズ」ではYouTubeの動画サーバーを利用し、PCとタブレット端末向けにBtoC配信を行います。配信サイトとして専用の動画ポータルサイトを用意します。また、ポータルサイトの構成や動画サイトとしての使い勝手を検証します。

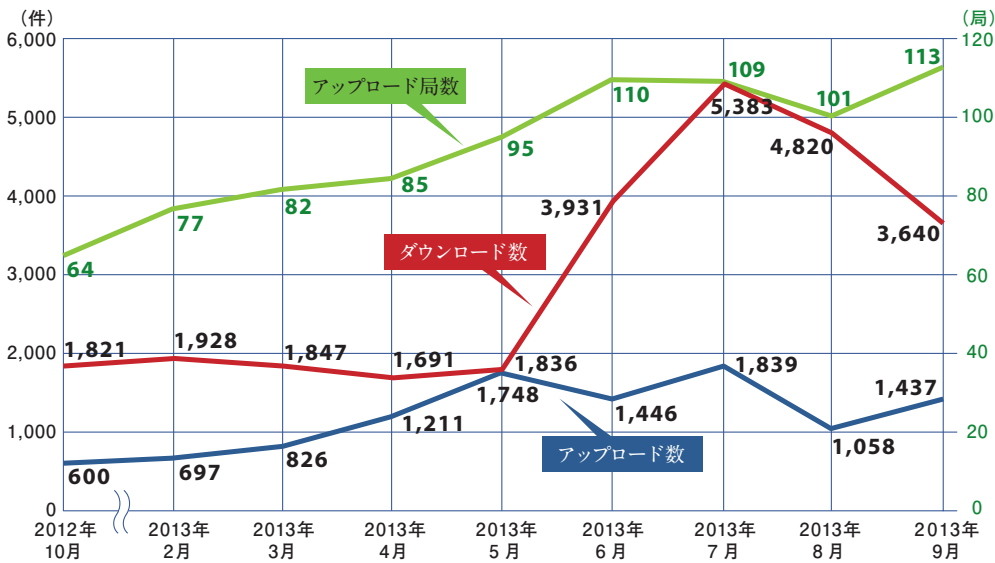
2014年4月にNextの「実証フェーズ」の稼働を予定しています。「実証フェーズ」ではスマートフォンへの配信にも対応し、動画エンジンはYouTubeのほかに独自にセキュアな動画再生環境を構築します。動画はフルスクリーン再生だけではなく、動画とともに関連情報を表示できる2画面機能を採用します。これによりケーブルテレビ局は関連情報として加入案内や番組情報などを掲載し、加入誘導などに活用することが可能となります。具体的にはアフィリエイト広告やストリーミング広告の掲載機能、番組と連動した広告を指定したタイムラインに合わせて表示する機能、独自物販機能などを提供できるようにし、これらの機能を使って収益化を目指します。さらにNextの英語対応も進め、コンテンツ紹介文を自動翻訳した上で英文を仕上げアップロードする機能も設ける予定です。

2015年1月に、「有料フェーズ」の稼働を目指します。このフェーズでは有料コンテンツに対応する予定です。決済には決済代行会社を利用する案を検討しています。

Nextへの番組アップロードは従来のAJC-CMSから行いません。宛先を「Next AJC-CMSへアップロード」として、Nextにアップロードができるようになる予定です。

AJC-CMSからのアップロード先にはIP-VODサービス

AJC-CMSの利用実績



2012年10月から13年9月末現在で、利用局数は約170局から約270局に増加
アップロードを行う局の数は2倍、流通コンテンツも月間アップロードで2倍以上に増加

AJC-CMS利用料金表

オペレータ(※1)	月額	年額
正会員オペレータ(本部会員を対象とします)	8,000円(税抜)	96,000円(税抜)
非会員オペレータ	10,000円(税抜)	120,000円(税抜)
お知らせ受信限定会員(※2)	無償	

※1:お申し込みは、局(利用規約に定義)単位とします

※2:お知らせ受信限定会員は、連盟の認める一部コンテンツ、およびサプライヤーの提供する番組宣伝コンテンツ等のダウンロードの利用に限定されます

サプライヤー(※3)	月額	年額
正会員サプライヤー	100,000円(税抜)	1,200,000円(税抜)
正会員サプライヤー(ライトコース)(※4)	20,000円(税抜)	240,000円(税抜)

※3:お申し込みは、チャンネル単位(利用規約に定義)とします

※4:ライトコースは月間HD番組10時間までのアップロード制限での利用とします

〈お申し込みに関するお問い合わせ先〉

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 コンテンツ・ラボ事務局

Eメール: jcta_contents-lab@catv.or.jp TEL:03-3566-8200 FAX:03-3566-8201

編集後記



今回のKey Wordは3Kでした。ケーブルの①Kキラーコンテンツは②K高校野球、③K故障のないシステム。1分1秒を争うスポーツ番組の制作にAJC-CMSがお役に立っている。責任の重さが身に染みるインタビューでした。ケーブルのステイタスを上げるために今後も辛口のご意見をお願いします。サンKベルマッチ!(小林)



J:COMのような大規模なMSOならではのAJC-CMS運用と感じました。他社との連携活用についても、各局の共同制作などで応用できる事例として興味深い内容でした。(糸田)